

森林の暮らしと共生



心を癒やす新緑の木々

「木は本来きちんと使われ、きちんと植え替えられれば、ずっと使える資源なんだから。鉄や石油のように掘って使ってしまったらなくなるといってもいいんです」



新鮮な空気、水。森林にはこれらを生み出すなど多様な機能がある

求めはぐくみ守る

二〇〇四年秋の台風23号では、中国山地で木が倒れる被害が続出した。特に民有林は復旧が緊急の課題だが、その道のりには林業の現代

的課題が立ちふさがる。国産材の価格低迷、林家の高齢化、後継者不足だ。

市場で安価にしか評価されない材を、あるいは需要が低

い材を、後継者がいない林家が将来を見据えて復旧するのは現実的に困難である。しかし、このことが山離れを加速し、荒れる森林をさらに生み出していく。「きちんと使えばいいさすれば！」。無残に木が横たわる山に、西岡さんの警句が重なる。

かつて鳥取県西部地域青年林業会議所理事長を務めた岩坂和男さん（故人）は、本社のインタビューにこう答えた。

「その地域で育った木を使って家を建てるのが、その地域の風土に最も合うのではないか」

地域の風土がはぐくんだ木が、その地域の風土に最も対応する。地産地消とこそさら強調しなくては、ごく普通のサイクルだったはずだ。それが、効率とグローバル化を追求する潮流の中で忘れられてしまった。

森林を守るためには「木を使う」という需要を人々の営みの中で生み出し続けなければならぬ。森林そのものが需要を生み出すわけではなく、木を使う人々の暮らしがあってこそ生じる派生的な需要だ。

水、国土の保全、癒やし、新鮮な空気。森林が人々に与える恵みに感謝しながら、木を寿命の限り大切に使う。それが、森林の保護へとつながっていく。

現代のライフスタイルは結果的に木を生活の中から追いやり、それが森林の荒廃を呼びつつある。木がもたらした一滴の水がやがて大河となるように、木の需要を生み出す新たなライフスタイルが森林の再生につながるものなのか。

このシリーズでは、そんな「暮らしと森林の共生」を模索する姿を紹介していく。

企画・編集

新日本海新聞社企画開発部

森林保全活動レポート

その③

森林は、手をかけないと守れない。だから、少しでも多くの方々の力が必要なのです。

今回の森林保全活動レポートその③に登場する

日野川の源流と流域を守る会

日野川とその流域の自然環境を守り育みながら、次の世代へ引き継ぐことを目的としています。会員は約740名で、その多くは米子市や日南町などの日野川流域の住民及び団体・法人です。源流域の人工林での間伐作業・日野川の河川清掃などの森林や川・海を守るボランティア活動、親子を対象にした「森と川の楽校(かっこう)」や講演会の開催などによる啓発活動を行っています。設立5年目を迎えた2006年は日野川源流域の自然などを紹介した「日野川源流ガイドマップ」の作業や総合案内板や道標の設置など、多くの記念事業も計画しています。

ボランティア参加のご希望は・・・「日野川の源流と流域を守る会」事務局 〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根南140-1 電話/0859-72-2021

森林を守ろう！山陰ネットワーク会議 参加団体のみなさん (4月21日現在) ※50名超

- 鳥取県
 - NPO法人 賀露 おやじの会(鳥取市)
 - NPO法人 サカズキネット(倉吉市)
 - 広葉樹文化協会(鳥取市)
 - 財団法人 南部町地域振興会(南部町)
 - 鳥取県木造住宅推進協議会西部支部(米子市)
 - 鳥取市女性の森グループ(鳥取市)
 - トトリネット(米子市)
 - 日野川の源流と流域を守る会(日野町)
 - 丸山生産森林組合(伯耆町)

豊かな緑を子どもたちの未来へ！ 森林を守ろう！山陰ネットワーク会議

山陰の森林に関する活動を展開しているNPO法人やボランティア団体を中心にネットワークを構築し、森林保全の輪を広げる活動を展開します。



森の現状を見てまわる会のメンバー。木がなぎ倒され、地面がむきだしになっています。

一見、普通のスギの森。でもよく見ると木が縦に引き裂かれています。2年前の台風や、その後の大雪によって森がこのような姿にかわってしまったのです。

しかも、このような状態が続くと、森の保水力が低下し、災害が起きやすくなるといわれています。森が果たすべき役割は、重大。けれど森の維持には、手間暇がかかるのも事実です。手入れの遅れた森林を再生するには多くの人たちの援助が必要です。こうした現実立ち向かうために結成されたのが、「日野川の源流と流域を守る会」です。森を守るために、間伐や植樹活動を行い、また「森と川の楽校(かっこう)」などの現地体験を通して多くの人々に自然の大切さを訴えています。

みんなで 森林を守ろう！

- 島根県
 - 出雲市林業振興協議会(出雲市)
 - NPO法人 緑と水の連絡会議(大田市)
 - NPO法人 もりふれ倶楽部(松江市)
 - 源流の森山づくり(邑南町)
 - 財団法人 島根県西部山村振興財団(浜田市)
 - 里山を育てる会(松江市)
 - しまねフォレスト・ネットワーク出雲(出雲市)
 - 森の仲間(出雲市)
 - 遊木民倶楽部(益田市)

特別協力 新日本海新聞社 山陰中央新報社

この広告に関するお問い合わせは事務局まで 山陰合同銀行 地域振興部内 島根県松江市魚町10 〒690-0062 TEL.0852-55-1820